

# 「国産材マーク」を創設

JAPIC

日本プロジェクト産業  
協議会(三村明夫会長、

JAPIC)の森林再生  
事業化委員会(委員長・  
米田雅子慶應義塾大学特  
任教授)写真)は8日、



東京都霞が関の農  
林水産省内で「国  
産材マーク」の創  
設を発表。日本の  
森林再生と林業復  
活を目指し全国へ  
の普及をスタート  
させた。政府同様  
2020年の木材  
自給率を現行の2  
倍となる50%に上  
げの目標を掲げ  
ている。  
豊かな日本の資源の一  
つである「森林」を元氣  
にするため、国産材の利  
用促進、需要拡大に向け  
た取り組みを国民運動と  
して全国展開することが  
狙い。「国産材マーク制  
度」は、マークを適切に  
使用することを通じて、  
国民に広く国産材を利用  
する意義や重要性を啓  
発。国産材の利用を促進  
するとともに、わが国の  
森林の再生、国土の保全  
などを促す。

国産材のマークの推進  
体制は同日に発足した国  
産材マーク推進会(米田  
雅子会長)の下に、「マ  
ーク使用許諾部会」と  
「マーク普及部会」を据  
え、マーク使用許諾部会  
員がマーク使用企業と、  
JAPIC森林再生事業  
化委員会メンバーはJAPICと許諾契約を結ぶ  
ことになる。  
マークの使用に当たっ  
ては、国産材マーク審査  
会を据え、マークを不正  
に使用した企業に対する  
罰則規定を定めるなど、  
不正使用への対策も講じ  
ている。

に当たり米田委員長は、  
「今回のマークは、産業  
界が利用者の視点に立っ  
て創設したことが特徴  
だ。国産材を使う意義を  
ユーザー企業に広め、消  
費者が国産材の良さを知  
り、選択するツールとし  
たい。そして、経済界の  
新たなうねりとしていき  
たい」と述べた。  
マーク使用許諾部会の  
メンバーは全国木材組合  
連合会、都道府県木材組  
合連合会、日本合板工業  
組合連合会など。マーク  
普及部会のメンバーは大  
東建託、鹿島、清水建設、  
大成建設、大林組、竹中  
工務店など。

国産材のマークの創設